

2022年第60巻『保育学研究』特集論文・自由論文の応募要項

投稿論文につきましては、日本保育学会倫理綱領に従い、子どもの健全な発達とのための保育活動を損なわないように、十分な配慮をしてください。また、研究倫理についても十分遵守してください。(『改訂 保育学研究倫理ガイドブック [フレーベル館刊行]』を参照)

1. 応募者

- ・5月投稿は、2020年度までの年会費を2021年3月31日までに納入済みの会員であること。かつ、2021年度の年会費を2021年5月20日までに納入していること。
- ・11月投稿は、2021年9月30日までに入会手続きを完了した会員であること。かつ、2021年度までの年会費を2021年11月20日までに納入していること。
- ・各応募期間(5月・11月)において、投稿可能な論文数は、特集論文と自由論文を問わず、筆頭者・連名者を問わず、1人1編とする。

2. 内容

- ・「論文」とは理論研究・実践研究を含みます。
- ・特集論文
2022年(第60巻第3号)テーマ「保育の質の向上及び子育て支援の充実に向けた取り組み—地域レベルの試みに焦点を当てて—」の内容は論文原稿公募の会報(第177号、2020年5月発行)ならびにHPをご覧の上、執筆してください。
- ・自由論文
内容は保育学ならびに保育実践に関係あるものとします。
- ・投稿論文は、日本語に限ります。
- ・投稿論文は倫理的配慮がなされた未発表のものに限ります。既に学会誌、紀要、著書などにおいて公刊、あるいは公刊予定、投稿中の論文と内容が重複する場合は多重投稿と判断されることがあります。投稿者の倫理観が問われることとなりますので、十分気を付けてください。多重投稿については、『改訂 保育学研究倫理ガイドブック』43頁を参照してください。

3. 投稿について

- ・投稿方法は、電子投稿に限ります。
- ・提出書類は、本学会の「電子投稿ページ」よりシステムへアクセスし、アップロードしてください。

(http://jsrec.or.jp/?page_id=3029)

※電子投稿の手順については、「電子投稿マニュアル(執筆者用)」をご参照ください。

4. 提出書類

- ・以下をそれぞれ別のファイルに保存し、アップロードすること
 - ・論文原稿
 - ・図表(論文原稿への掲載も可)
 - ・謝辞、付記
 - ・関係書類
 - ・付記に掲載のある論文等
 - ・年会費の「振替払込請求書兼受領書(執筆者全員分)」のコピー(PDFなど)

5. 提出期限

- ・2022年第60巻特集論文・自由論文ともに
2021年5月1日から5月20日23:59(日本時間)【システム表示時間5月20日10:59(アメリカ東海岸時間)】有効および
2021年11月1日から11月20日23:59(日本時間)【システム表示時間11月20日9:59(アメリカ東海岸時間)】有効とします。

6. 受付の確認(受領と受理)

- ・提出書類をアップロードし、新規投稿が完了すると、システムより投稿送信完了のお知らせメールが届きます(自動配信)。
- ・事務局での投稿内容確認後、確認事項がある場合には別途お知らせメールが届きますので、内容を確認し、その指示に従って作業をし直してください。その際、指示された点以外のことに関して、論文原稿に手を加えることはできません。
- ・その後、編集常任委員会において投稿論文が執筆規程および応募要項に合致しているかを確認し、「受理」するか否かを決定します。受

理された論文にはシステムより投稿受付完了のお知らせメールが届きます。

7. 選考

- ・受理された論文は編集常任委員会が、慎重かつ厳重な方法で選考して掲載の可否を決定します。

8. 選考結果の通知

- ・選考の結果は、システムよりメールでお知らせいたします。
- ・選考の結果は、2022 年第 60 巻 特集論文・自由論文ともに 5 月に投稿された場合は、2021 年 10 月頃までに、11 月に投稿された場合は、2022 年 4 月頃までにお知らせいたします。
- ・採択された場合は、修正済み完成論文と同一の内容を保存した CD や USB メモリ等を提出してください。その際、**論文の変更は認められません(題目も含む)**。論文が変更されていた場合は、採択は「取り消し」となります。

9. 著作権について

- ・採択された論文の著作権は日本保育学会に帰属し、採択された場合は、**著作権譲渡誓約書**を提出していただきます。ただし、採択された論文の公表は、執筆者個人およびその所属組織の Web サイト等において『保育学研究』発刊後、出典を明記すればこれを妨げません。

10. 論文の返却

- ・投稿された論文 (CD や USB メモリ等を含む) は返却いたしません。

11. 論文の変更

- ・論文を『保育学研究』に掲載する場合、題名等を若干変更することがあります。その場合は執筆者に連絡をして了承を得ます。

12. 校正

- ・校正は執筆者本人の責任とし、再校正までとします。その際、論文の変更は認められません (題目も含む)。
- ・英文校閲委員による校閲は行いますが、最終的な責任は執筆者本人によるものとします。

13. 費用の執筆者負担

- ・図版作成に要するトレース代、および写真・図版の経費は執筆者負担とすることがあります。

14. 抜刷について

- ・掲載された論文の抜刷を 30 部お送りします。それ以上必要な場合は、実費負担となります。希望者は、校正時にお送りする書類でお申し出ください。

15. その他

- ・論文が『保育学研究』に掲載される方は、希望冊数分の保育学研究を割引価格でお分けできます。詳しくはメールにてお知らせいたします。

16. 問い合わせ先

- ・執筆、投稿などについて疑問がある場合は、日本保育学会事務局へお問い合わせください。
<TEL 03-3234-1410>
<FAX 03-3234-1414>
<E-mail hoiku@main.so-net.jp>

「執筆要項」および「論文執筆のための手引き書」「電子投稿マニュアル(執筆者用)」は、ホームページをご確認ください。